

介護ロボットの導入事例

[その他詳しい要件など（大阪市ホームページ）](#)



移動式リフト（移乗介助）

ベッドから車いす、車いすからトイレなど、様々な場面での移乗業務に使用可能です



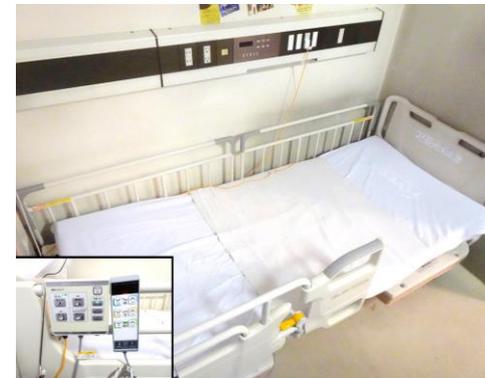
アシストウォーカー（移動支援）

利用者の動きや路面状況を検知し、歩行を支援します



排泄予測機器（排泄支援）

センサーで排泄タイミングを検知して通知することで、トイレへ誘導します



離床センサー付ベッド（見守り支援）

起き上がりや離床を検知し、ナースコール設備と連携します

導入した事業所の声

事業所が抱える問題

- 移乗業務時の職員の腰痛
- 見守りの人員不足
- 職員配置が少ない時間帯の対応が追いついていない
- 人手や時間を要することによるサービスの質の低下
- 利用者のベッドからの転落による怪我など

導入による効果

- 職員の身体的負担の軽減、作業時間の短縮
- 事故に繋がる機会を減らし、利用者・職員ともに安全に介助できるようになった
- 誰もが同じレベルの介助を実現でき、サービスの質が向上できた
- データの蓄積による健康状態の把握
- 転倒、転落事故のリスク低下